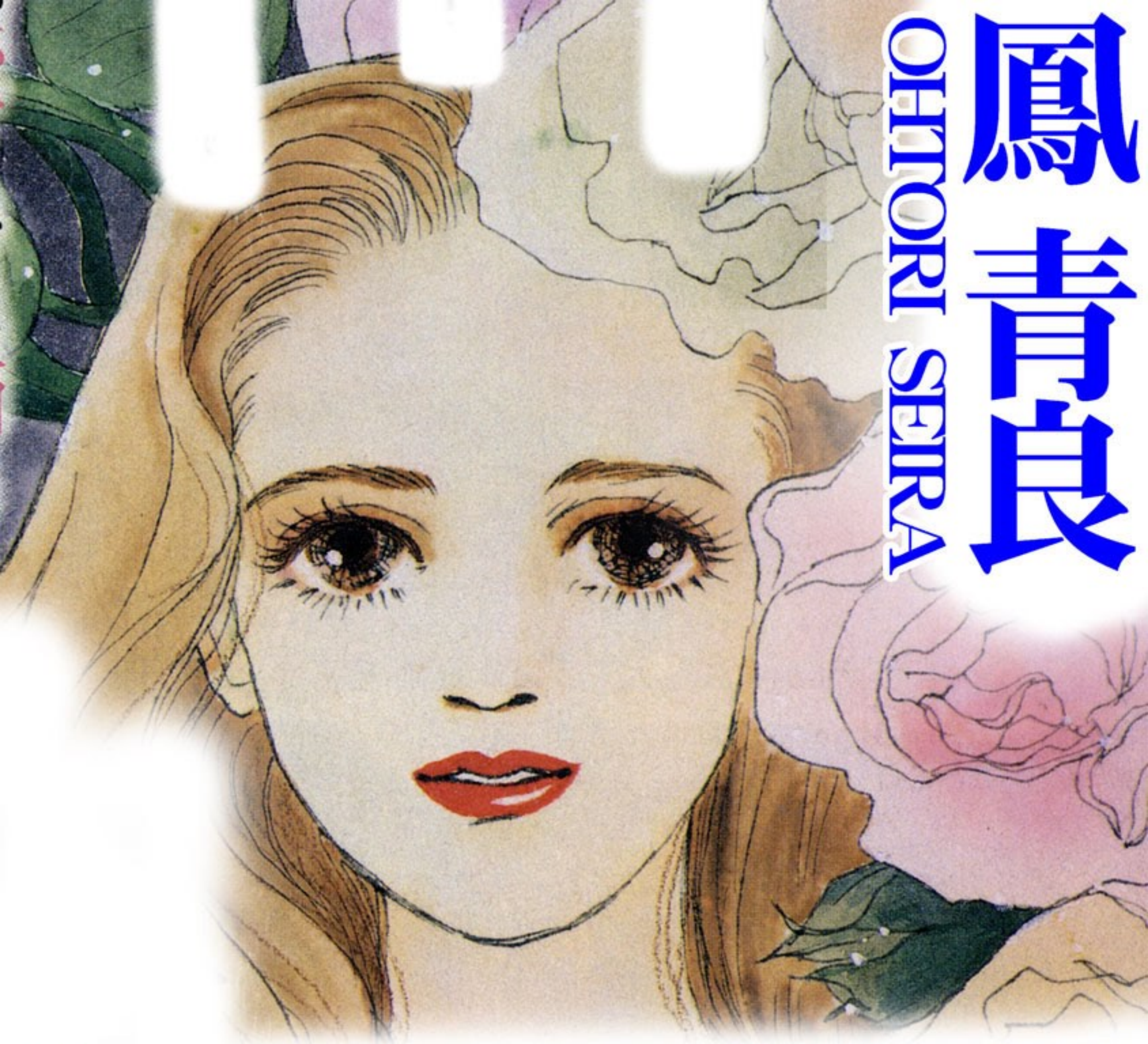
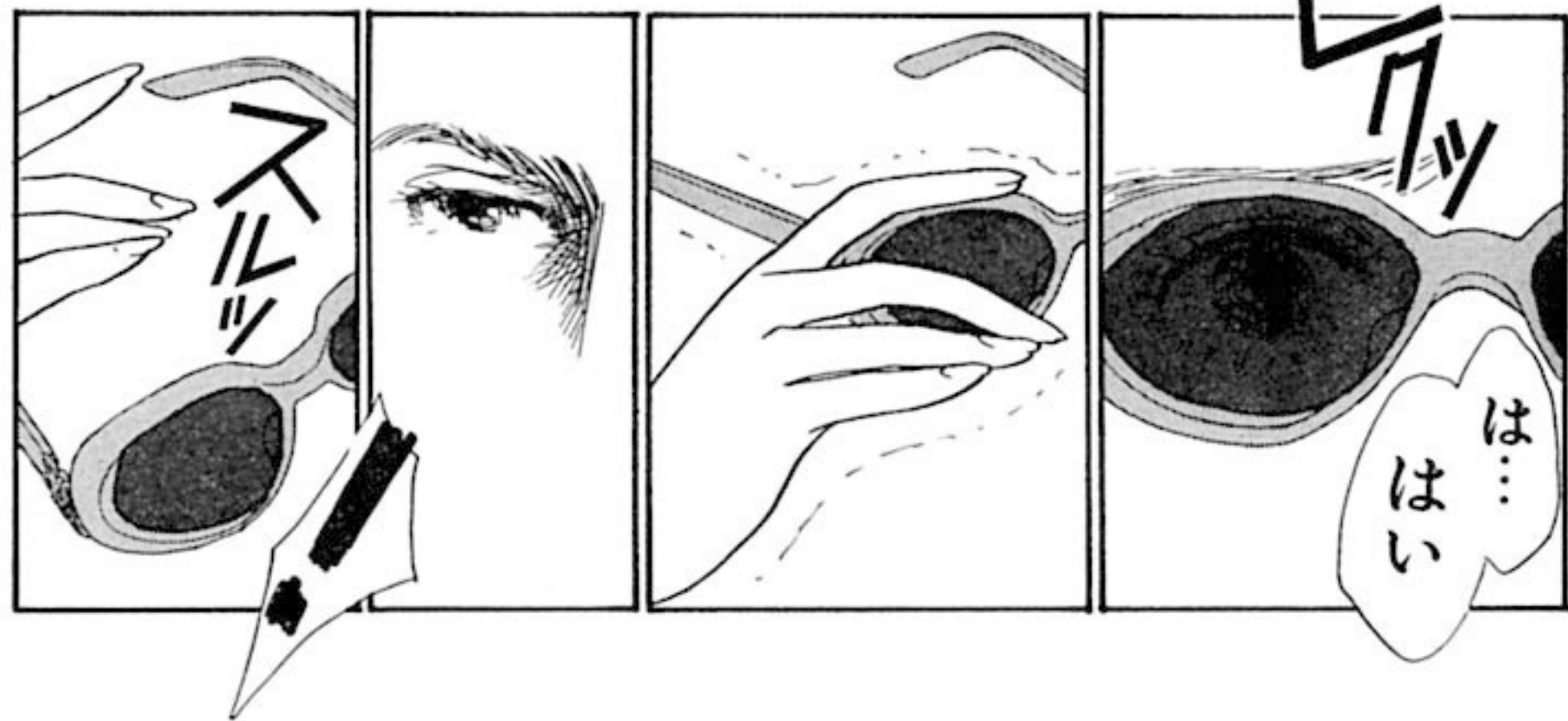


鳳書

OHTORI SEIRA

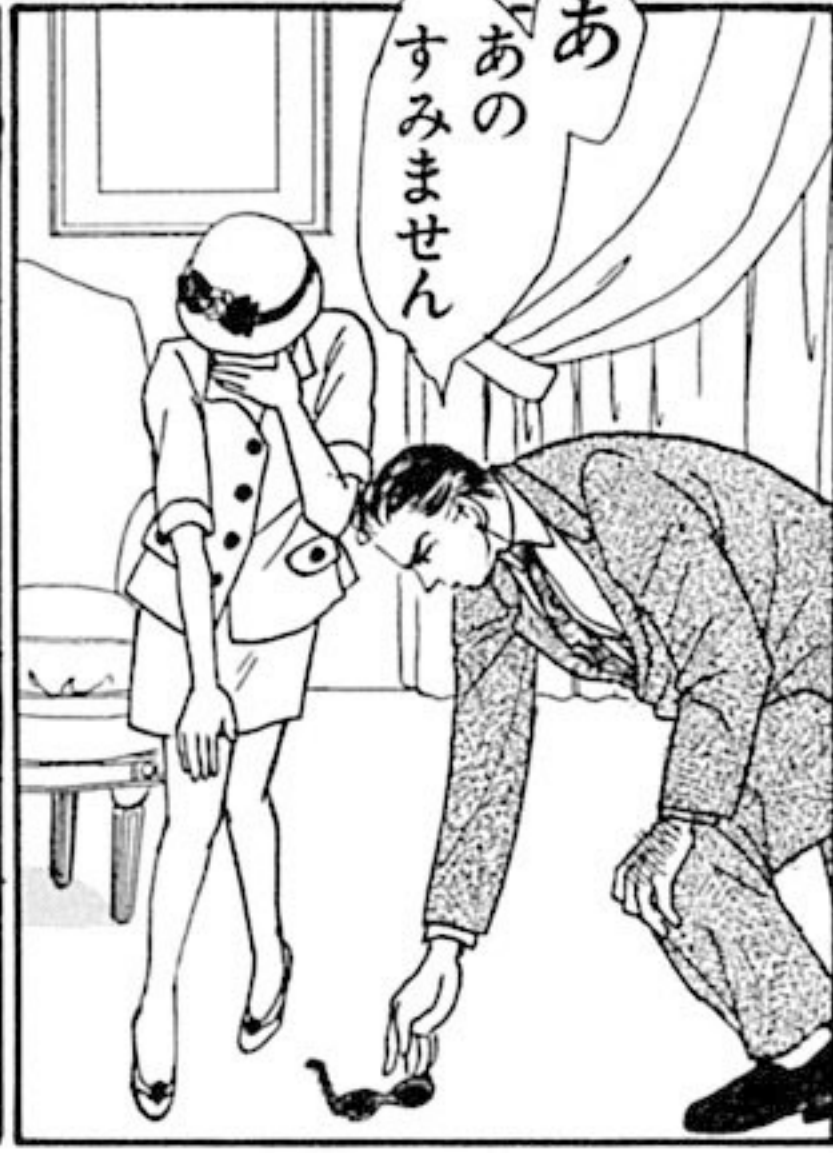


初めての援交、
人妻なのに
乱れちゃう!?

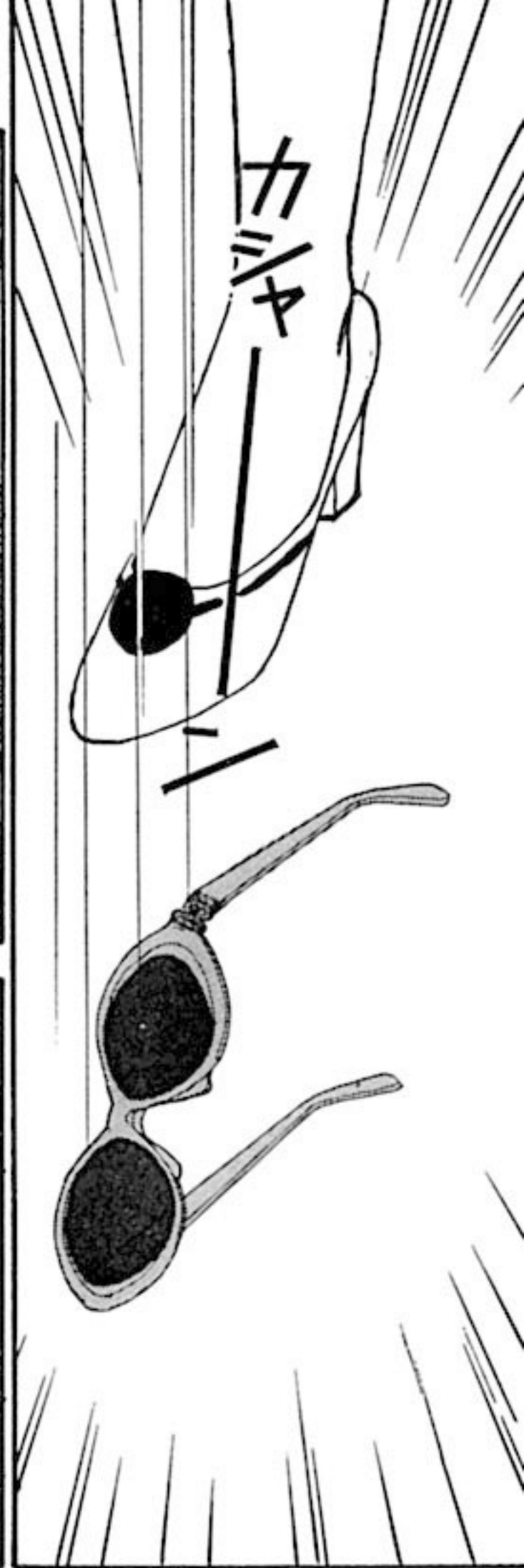




初めて？



あ
あの
すみません



カミヤ



わたしが
最初の客か



あ…あの

光荣だな

こんなに
美しい花の蜜を
最初に味わう男に
なれるなんて

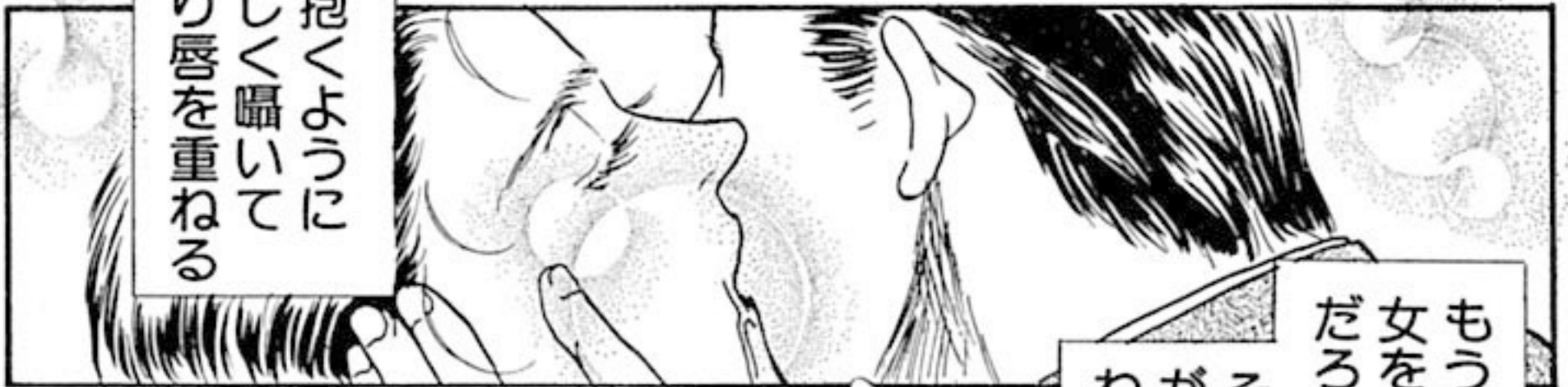


あ…
あたし…



大丈夫だよ
手荒な事は
しない約束だ

バージン
処女を抱くように
男は優しく囁いて
ゆつくり唇を重ねる



もう何人も
女を抱いてきたの
だろう

その舌は押しつけ
がましくもなく
わたしの舌にからむ



はあ

長い指は細やかに動いて
女の曲線を辿る

わたしは
ゆつくり溶かされる





とても
敏感になってる

ご主人は
可愛がって
くれている
ようだな



あん



あ

かわいそうに
たっぷり
愛してあげよう

言葉通り
男はじつくり
わたしを攻めあげる



あとから
あとから
溢れ出す蜜を

一滴も残さず
なめあげた



あ
はあ

もう

だめ

ちゅっ
ぽっ

夫がいるのに

久しく愛されていない
からだ
身体は

砂丘のように男の愛撫を
喜んで容れる



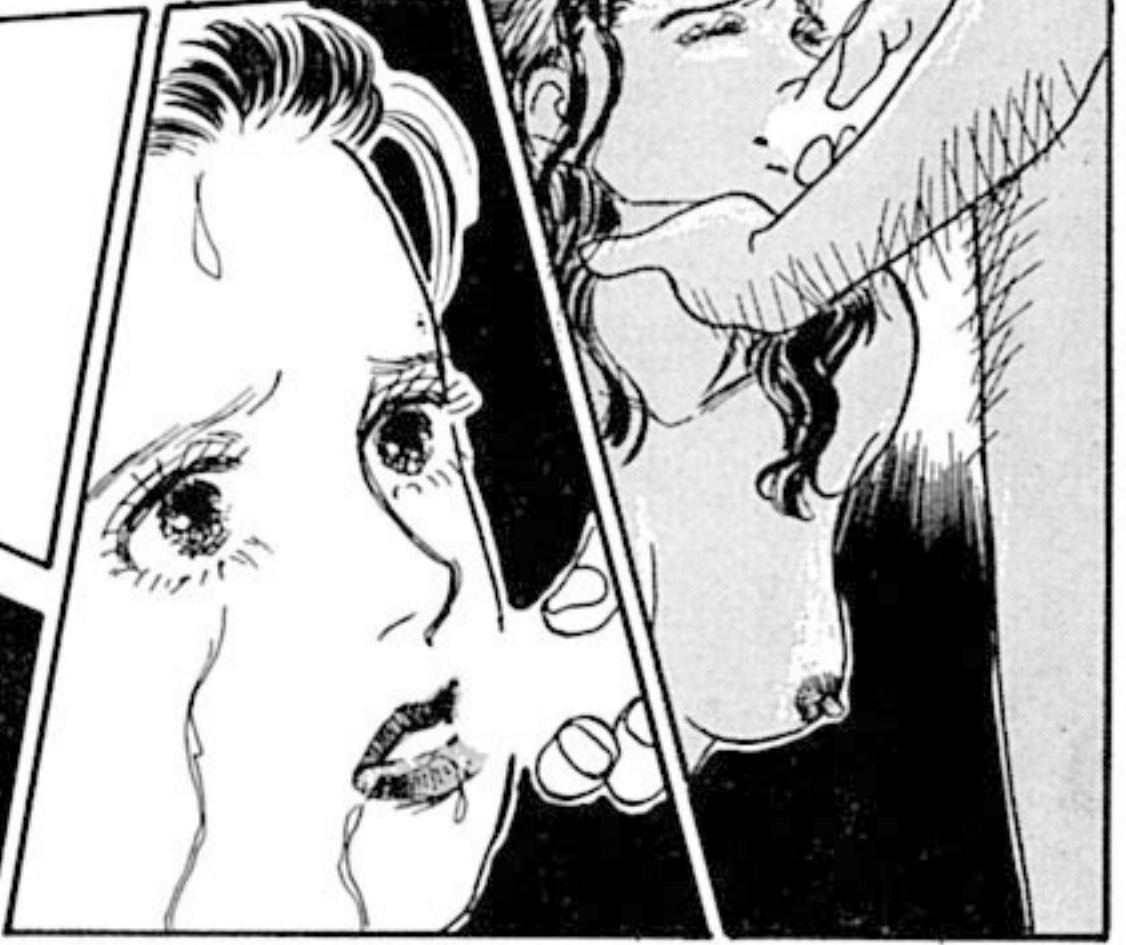
ちゅっ
ぽっ



さあ



ちゅっ
ぽっ



ちゅっ
ぽっ

あーっっ...



ああ
マルグリット

いいよ
きみのような女を
放っておくなんて
愚かな男だ
きみのご主人は

ん…
ん
ハハハハ
ハハハハ

あ…



男の吐息が
もれる

わたしは舌に
情を込める

思いつきり



おや

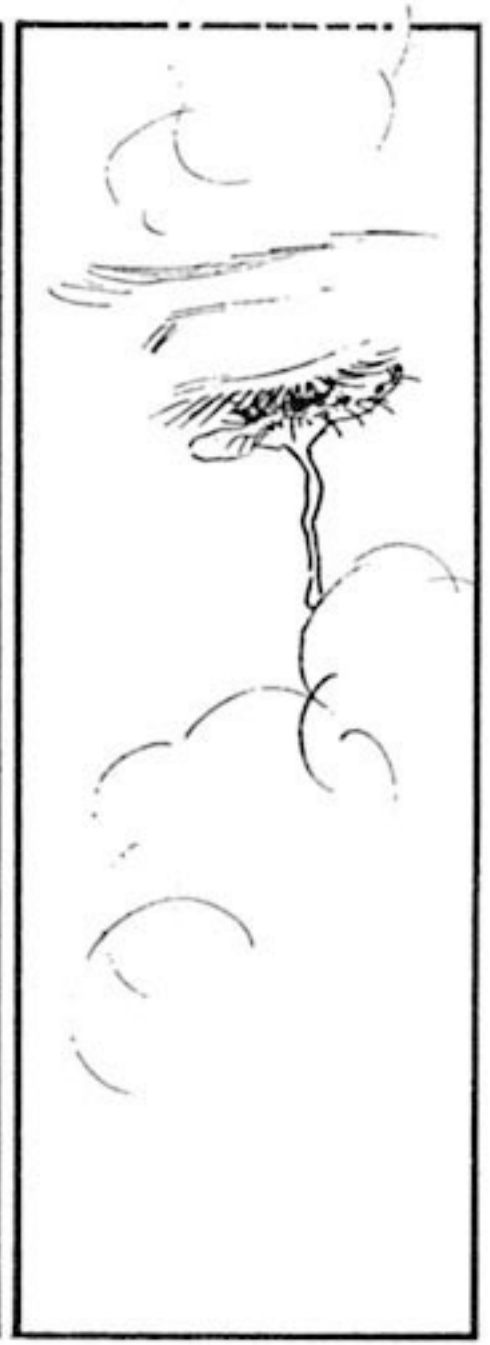
泣いているの

嬉しいねえ

情が深いんだ

夢中だった

何が何だか
わからなくて
夢中でしゃぶった





夢中で男を受け容れた

そして

あ

あ

あ

ズ



よかったよ

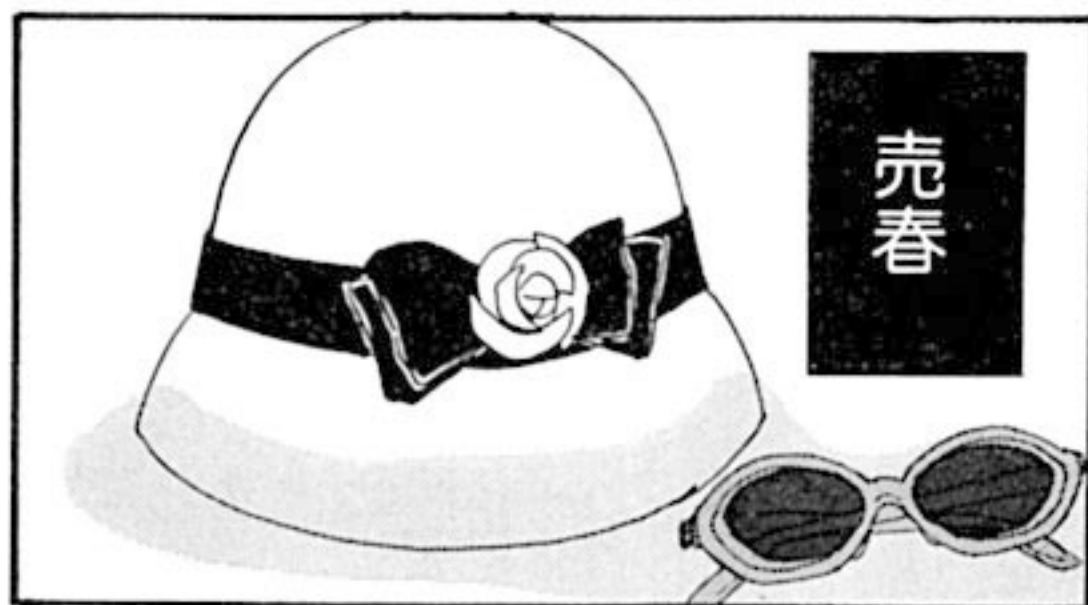


また指名するよ「マルグリット」

きみに心付けた

このお金...?





売春

燃えるように
熱い女の秘部と

よかつたつて
何が…？



わたしは

この日から

春を売る女になつた

凍るように
冷たい心臓—

わたしの
何が…？